

パンフや冊子はPR・情報発信に有効です！

～事業概要・PRパンフレット・学習資料等の制作を行います～

こんな使い方ができます！

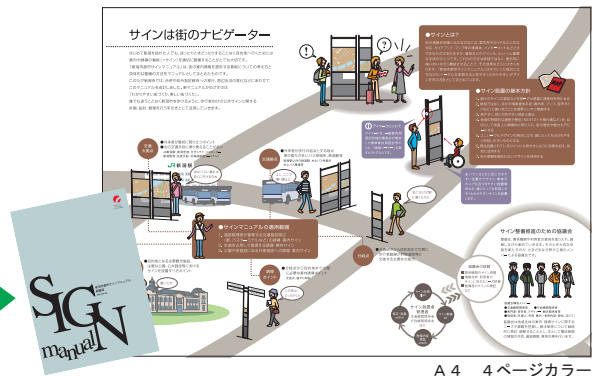
公共事業への住民意見の反映、事業の透明性の向上等が求められるなか、パンフレットなどは誰にでも手にとり易いものであり、重要な周知ツールとなります。

イベントや説明会の補足資料、公園の利用案内など、いろいろな物と上手く組み合わせることで、その理解度を深めることができます。以下に例を示します。

① 事業等の周知

市民にもわかりやすい表現、図等をもちいたリーフレットにすることで、何度もじっくりと読み、**事業の理解度が高まります。**

例 「新潟市都市サインマニュアル概要版」マニュアルの基本的な事項について、イメージ図やイラストを用い、わかり易い紙面づくりを工夫しました。対象：一般、行政関係者



A4 4ページカラー

② 利活用の促進

施設の概要、特徴等を伝えることができ、**利活用の促進、来訪者の増加**が期待できます。

例 「八色の森公園案内パンフレット」新しく開園する公園について、施設の配置図や写真を用いて、施設の紹介や公園のイメージを表現しました。対象：一般



A4 4ページカラー

③ 調査データの活用

アンケート調査や、自然環境調査等の結果を、まとめることで、**他事業の基礎資料や総合学習の資料**として活用できます。

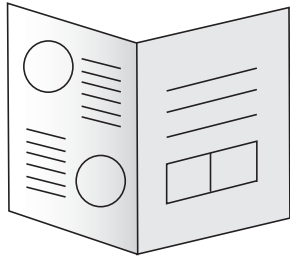
例 「信濃川下流の生き物学習資料」河川水辺の国勢調査の結果を活用し、信濃川下流に生息する生物について、小学生向けの学習資料を作成しました。対象：小4以上



A4 31ページカラー

印刷物の種類

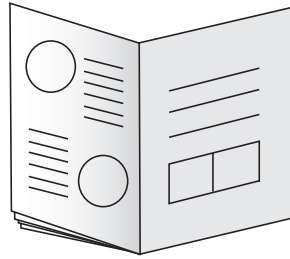
①リーフレットタイプ



「A4 4ページ」等の1枚物折りたたみタイプ

- ・重要なポイントを伝える
- ・手にとり易い
- ・比較的低価

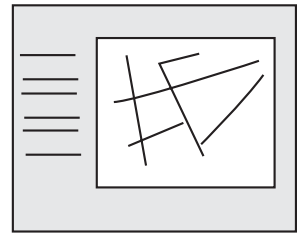
②冊子タイプ(パンフ)



ページ数の多い冊子タイプ

- ・詳しく伝えることができる
- ・比較的高価

③マップタイプ



地図を基本に作成するタイプ

- ・広い場所、移動するときに便利
- ・マップと情報の組合せも可能



こんな工夫をしています！

①広い分野・視点での提案

まちづくり、造園設計、文化財、生物調査、環境設計、建築設計等と各専門スタッフが在籍しているので、様々な分野(視点)での提案が可能です。



②地域の特性を打ち出す

左記の通り、多分野にわたる業務実績より、その地域特有の情報を把握しています。

地域ならではの情報、地域特性を盛り込んだ個性あるパンフレット等を作成します。

③ネットワークを活かす

大学、NPO団体、生物の専門家、グラフィックデザイナー、観光カリスマ等、これまでに構築した様々なネットワークを活かし、正確で充実した掲載内容を構成します。

